

第五次羽村市長期総合 計画の総括について

1. 第五次羽村市長期総合計画 の進捗





① 第五次羽村市長期総合計画の概要

基本理念

「自立と連携」

羽村市が魅力あるまちとして持続的に発展していくため、市民・事業者・行政が自立し、それぞれの責任と役割を担い、相互に連携していくことが必要であるため、「自立と連携」を基本理念としています。

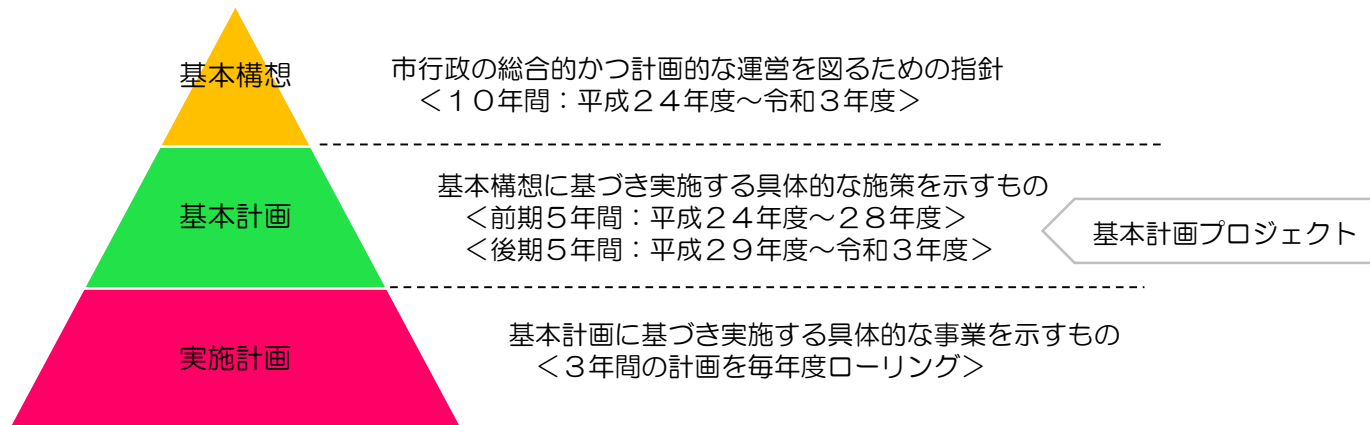
将来像

ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら

「ひとが輝き」…市民一人ひとりが人として尊重され、子どもから高齢者まで、だれもが明るくいいきと輝くまちを目指します。
 「みんなでつくる」…市民それぞれが、まちづくりのために持てる力を発揮し協力するまちを目指します。
 「安心と活力のまち」…だれもが、安全で安心して暮らせるまち、市民が元気に活動し、地域社会や産業が活気に満ちた活力のあるまちを目指します。

計画の構成と計画期間

計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つにより構成されています。



人口想定

目標年次となる令和3年度における人口は、おおむね57,000人と想定しています。 3

② 第五次羽村市長期総合計画期間における羽村市の歩み

羽村市のできごと

4月 羽村第一中学校 特別支援学級開級

7月 羽村市ポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の禁止並びに路上喫煙の制限に関する条例の施行

8月 日野自動車(株)と災害協定締結

9月 羽村市商工会事業「はむらe-市場」オープン

1月 愛知県清須市、神奈川県足柄下郡真鶴町、京都府乙訓郡大山崎町、大阪府泉北郡忠岡町、大阪府泉南郡田尻町、兵庫県加古郡播磨町との新たな災害時相互応援協定の締結／茨城県古河市との災害時相互応援協定の締結

3月 羽村市長登庁式

5月 天皇后両陛下の羽村市郷土博物館行幸啓

7月 ポイ捨て禁止等条例施行1周年キャンペーンの実施／羽村市公式キャラクター「はむら夏まつり」でお披露目

9月 第68回国民体育大会バレーボール競技会を羽村市スポーツセンターで開催

11月 都内で初となる図書館での読書手帳の配布

2月 羽村市観光協会が、茨城県古河市観光協会・埼玉県日高市観光協会、神奈川県南足柄市観光協会・神奈川県真鶴町観光協会との交流事業を開始／雪害により山梨県北杜市へ救援物資搬送

4月 放課後子ども教室を全小学校で開設

7月 MV-22オスプレイが横田基地に初飛来

8月 公式ツイッターの運用開始

10月 羽村市公式キャラクター「はむりん」のうたとダンスが完成

11月 羽村市AZEMS（エイゼムス）プロジェクト始動



◀ 羽村市公式キャラクターはむりん

4月 羽村西小学校に「くすのき学級（知的障害）」、松林小学校に「まつこの学級（自閉症・情緒障害）」の特別支援学級を開級

5月 「はむらん」運行10周年事業の実施

6月 羽村市生涯学習センターゆとろぎ開館10周年記念事業～伝統文化交流事業inゆとろぎ「越中八尾おわら風の盆」の実施

7月 はむら夏まつり40回記念～羽村駅東口・西口イルミネーション～の開催

9月 杏林・羽村コモンズ2015の開催

10月 創業支援スペースiサロンの開設／はむらイルミネーション～はむりんの魔法～の開催

平成24年度（2012）

4月 「脱ゆとり」の新学習指導要領の実施／中学校「体育」で「武道」必修化

5月 国内の50基ある全原発が停止「東京スカイツリー」オープン

6月 東京電力の実質的国有化正式決定

7月 九州北部豪雨の発生

10月 米軍新型輸送機オスプレイ沖縄普天間基地に配備完了

12月 中央道笹子トンネル天井板崩落事故発生／東京都知事に猪瀬直樹氏が当選／安倍晋三内閣 再び発足

平成25年度（2013）

4月 障害者総合支援法 施行／障害者優先調達推進法 施行

6月 いじめ防止対策推進法が成立／改正DV防止法成立（配偶者以外も対象に）

9月 IOC総会で2020年五輪・パラの開催都市が東京に決定／初の特別警報を京都・滋賀・福井で発表

12月 改正生活保護法・生活困窮者自立支援法 成立

2月 東京都知事に舛添要一氏が当選

平成26年度（2014）

4月 消費税17年ぶりに増税 8%へ

6月 群馬県「富岡製糸場」が世界文化遺産へ登録決定

8月 平成26年 8月豪雨の発生

9月 御嶽山（長野県・岐阜県）噴火

11月 長野北部でM6.7最大震度6弱の地震が発生

12月 特定秘密保護法施行

平成27年度（2015）

5月 鹿児島県「口永良部島」で爆発的噴火

8月 戦後70年の終戦の日／女性活躍推進法成立

9月 関東・東北豪雨の発生／安全保障関連法が成立

10月 若者雇用促進法施行／マイナンバー法施行

3月 改正自殺対策基本法が成立

社会のできごと

4月 シティプロモーション推進課、東京オリンピック・パラリンピック準備室の設置／病児保育の開始／全小学校で「特別支援教室」事業の本格実施／平成28年熊本地震への被災地支援として熊本県に物資搬送

11月 羽村市公式PRサイトを公開

12月 羽村市マンホールカード「羽村の堰と桜」を配布開始／年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間を開始

3月 羽村市動物公園の入園者1,000万人突破／羽村市長登庁式

羽村市マンホールカード



▲ 羽村の堰と桜

▲ 羽村市動物公園とチューリップ

4月 【全国初】(株)ベネッセコーポレーションと「ひよこクラブ『羽村市ブランドブック』」を制作／日本郵便(株)羽村郵便局と「地域における協力に関する協定」の締結

5月 YouTube「東京都羽村市公式動画チャンネル」を開設

6月 子育て世代包括支援センター「羽っぴー」を開設

7月 羽村市公式「Instagram」を開設

10月 住民票等のコンビニ交付の開始

11月 多摩ケーブルネットワーク(株)と「地域広帯域移動無線アクセスシステムの整備及び公共サービスに関する協定」の締結

12月 羽村市のマンホールカード「羽村市動物公園とチューリップ」配布開始

3月 羽村市商工会・福生警察署と「サイバーセキュリティに関する協定」の締結／生活協同組合3団体との「高齢者の見守りに関する協定」の締結

4月 ガバメントクラウドファンディング（動物公園看板制作事業）の実施

5月 ラジオ体操動画を「東京動画」で配信開始（都内市区町村第1号）

6月 (株)伊藤園と災害協定の締結

10月 米軍CV-22オスプレイ 5機が横田基地に配備／動物公園開園40周年記念式典及びリニューアルオープン

11月 キルギス共和国男子柔道チーム「柔道グランドスラム大阪2018」事前キャンプの受入れ

12月 「みんなでラジオ体操プロジェクト」動画コンクールで入賞

1月 市役所1階に写真撮影用バックボードを設置／(株)宅配と「高齢者の見守りに関する協定」を締結

2月 「ことりっぷ（立川・福生・青梅・昭島・羽村）」発売

3月 トヨタ紡織(株)が「郷土博物館常設展示室」リニューアル寄贈／(株)赤ちゃん本舗と「赤ちゃんのおしりふきのふた」製作／オリジナル婚姻届受理証明書の発行開始

4月 「特別支援教室」を全中学校に導入／青梅市とし尿の共同処理の開始

5月 小作駅周辺で「Wi-Fiサービスの運用」を開始

6月 羽村市がキルギス共和国のホストタウンに登録

7月 蓄熱システムの本格実証試験の開始／羽村駅周辺で「Wi-Fiサービスの運用」を開始

8月 キルギス共和国男子柔道ナショナルチーム「2019世界柔道選手権」事前キャンプの受入れ／日産自動車(株)と電気自動車を活用した「災害連携協定」を締結

9月 袖ヶ浦市へ支援物資の搬送（台風第15号への対応）

2月 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応として、市主催イベントの中止・延期／市立小・中学校の臨時休業の実施／羽村駅自由通路拡幅等整備の全面供用開始

3月 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応の継続実施

平成28年度（2016）

4月 電力自由化スタート／障害者差別解消法施行／熊本地震 益城町で震度7の発生

5月 ヘイトスピーチ解消法成立

6月 改正公職選挙法施行 選挙権18歳に

7月 東京都知事に小池百合子氏が当選

12月 改正ストーカー規制法成立（ブログ・SNSも対象）／沖縄名護市沖でオスプレイが不時着 大破

2月 プレミアムフライデースタート

平成29年度（2017）

4月 人口6年連続減少 総務省

6月 子どもの数36年連続減 過去最低更新

7月 九州北部豪雨災害の発生

1月 草津白根山（群馬県草津町）噴火

2月 福井県を中心に大雪発生



◀ (株)ベネッセコーポレーションと制作した「ひよこクラブ『羽村市ブランドブック』」

平成30年度（2018）

4月 改正生活保護法成立（進学一時金支給）／大阪北部地震 M6.1 最大震度6弱の発生／成人年齢18歳に引き下げの改正民法成立／西日本豪雨 全国的に広い範囲で記録的な大雨の発生

7月 埼玉 熊谷で観測史上 国内最高気温の41.1度

9月 北海道地震 M6.7 最大震度7 発生



◀ 市役所1階に設置した「写真撮影用バックボード」

令和元年度（2019）

4月 次期元号の決定／第125代天皇明仁が退位し、「平成」が幕を閉じる

5月 皇太子徳仁親王が第126代天皇に即位、「令和」に改元／気象庁防災気象情報で、警戒レベル（5段階）の運用開始

9月 台風15号（令和元年房総半島台風）発生 千葉県を中心に甚大な被害

10月 消費税10％に／台風19号（令和元年東日本台風）発生 首都圏直撃

1月 中国・武漢市で、新型コロナウイルス感染症が発生

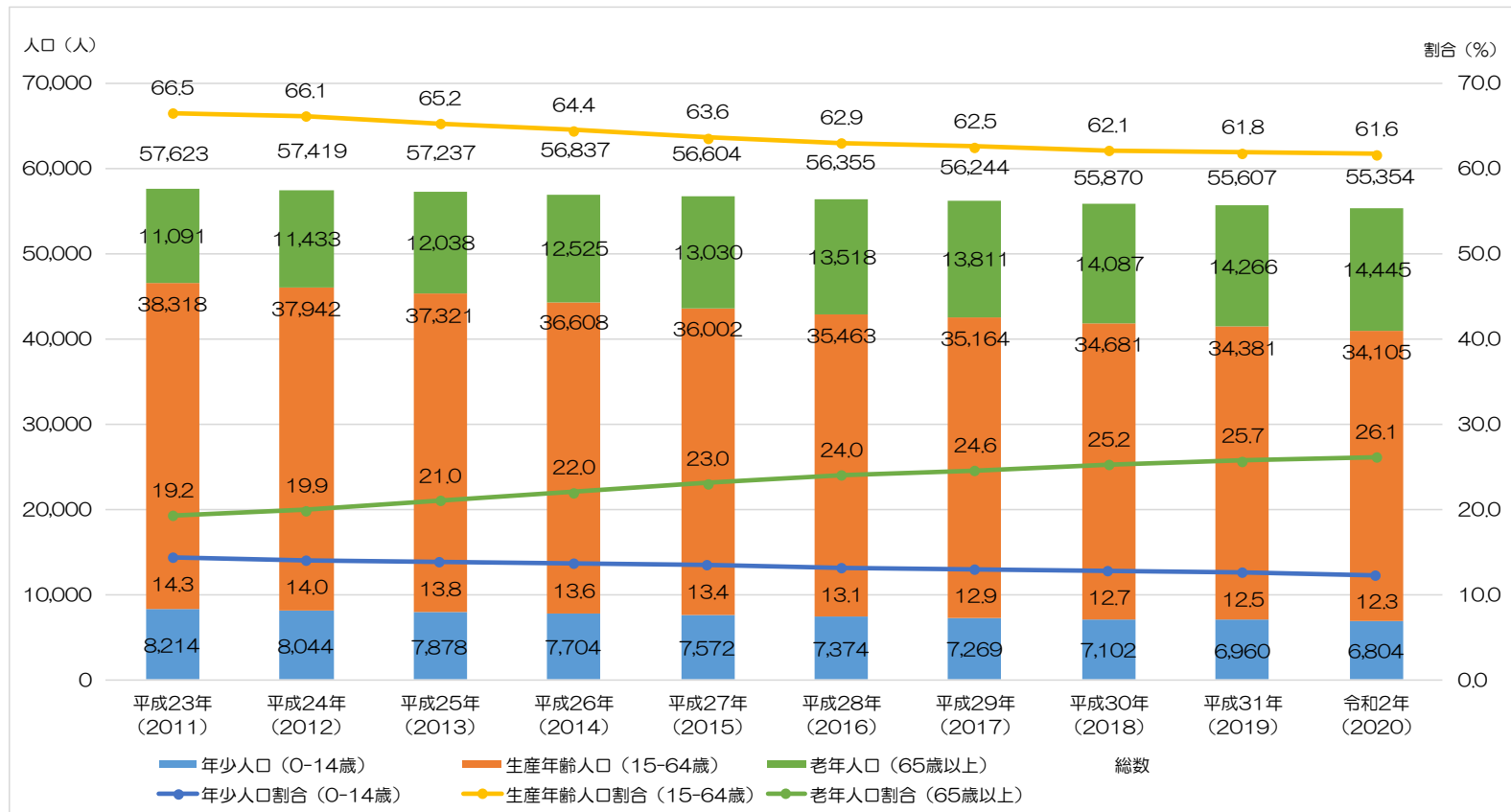
2月 新型コロナウイルス感染症を「指定感染症」に指定、イベント中止、学校休校の要請

③ 人口の推移（第五次羽村市長期総合計画期間中）

（1）人口推移（平成23年～令和2年）

羽村市の人口は、第五次長期総合計画のスタートとなる平成23年は、57,623人であったが、その後は減少傾向にあり、平成26年には、56,000人台、平成30年には55,000人台となり、10年間で、2,269人減少した。内訳をみると、人数と構成割合ともに、年少人口及び生産年齢人口が減少し、老年人口は増加した。

図表 羽村市の人口推移（平成23年～令和2年）

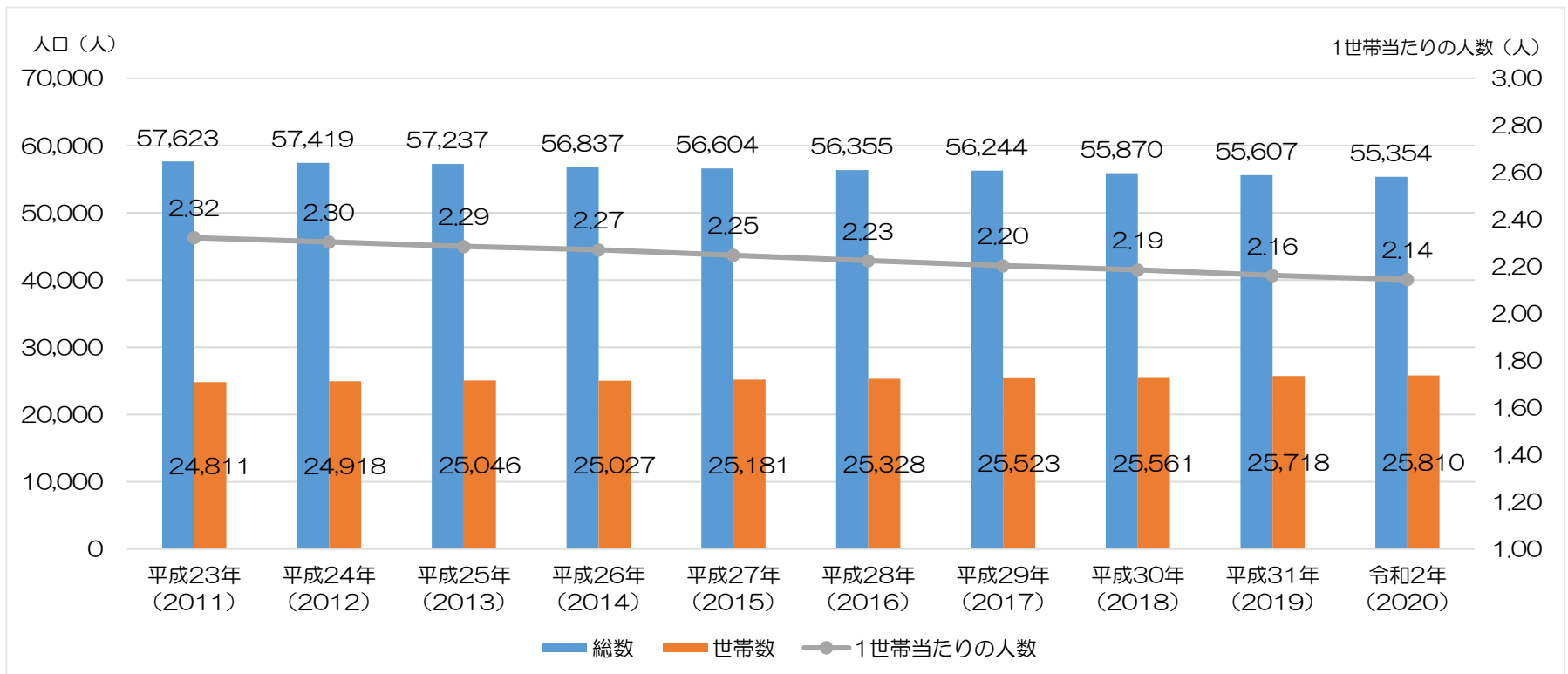


（２）世帯数、１世帯当たり人口推移（平成22年～令和2年）

羽村市の世帯数は、平成23年は、24,811世帯であったが、その後は増加傾向にあり、平成25年には、25,000世帯を超え、令和2年には25,810世帯となり、10年間で、999世帯増加した。

１世帯当たりの人数は、平成23年の2.32人から年々減少し、令和2年には2.14人となり、0.18人減少した。

図表 世帯数、１世帯当たりの人数の推移（平成23年～令和2年）





④ 財政状況の推移（第五次羽村市長期総合計画期間中）

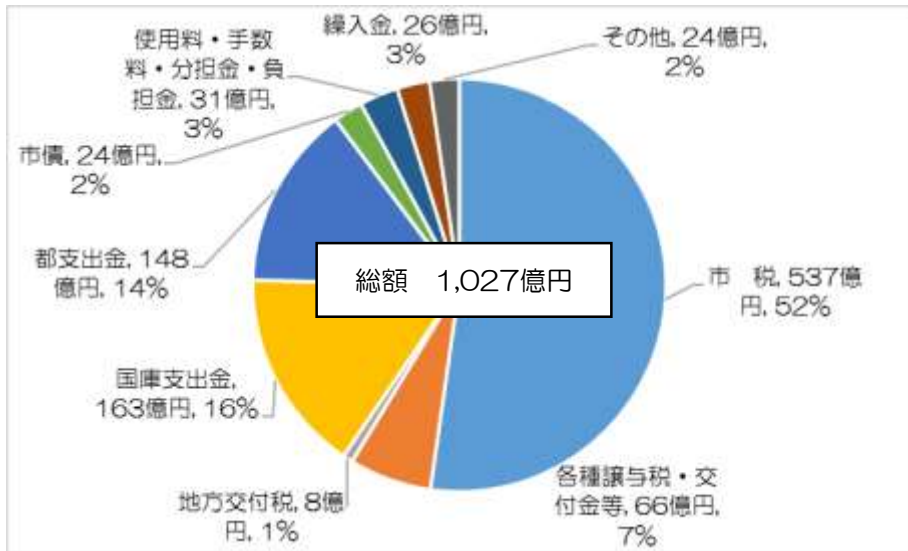
（１）前期基本計画における財政推計と決算状況

①歳入

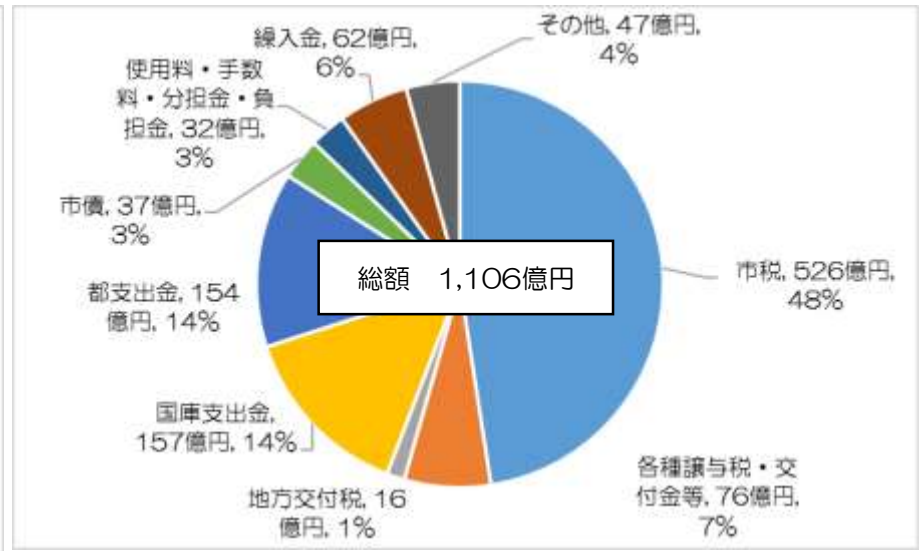
前期基本計画では、歳入として総額1,027億円を見込んでいたが、決算では、歳入は、総額1,106億円で79億円の増加であった。

市税は、推計値よりも11億円減少（△2.0%）したが、各種譲与税・交付金等が10億円、地方交付税が8億円増加した。歳出が計画時よりも大幅に増加したことへの財源補完として、基金の取崩しや、市債の借入れ等による対応を図り、繰入金が36億円増加した。

図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成24年度～28年度）策定時財政推計（歳入）



図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成24年度～28年度）決算の状況（歳入）



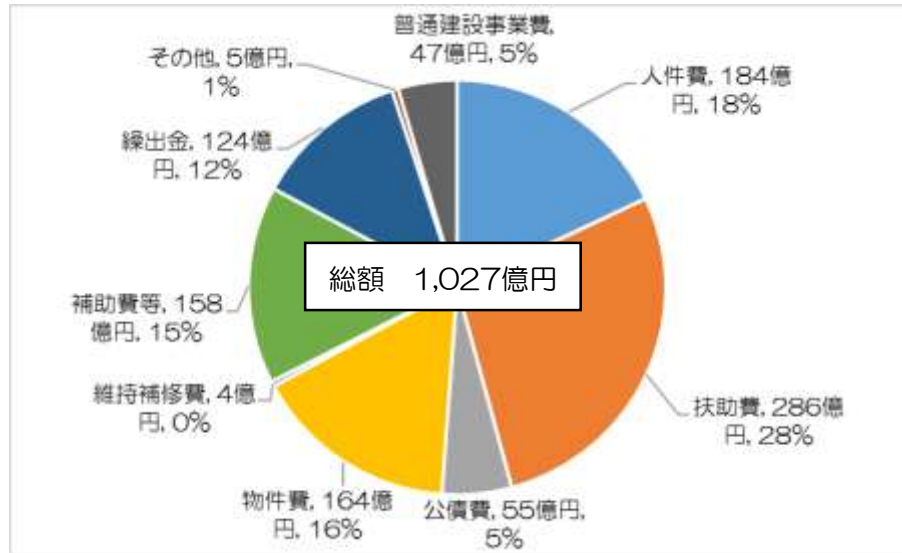
※歳入のその他には、繰越金、諸収入、財産収入・寄付金が含まれる。

②歳出

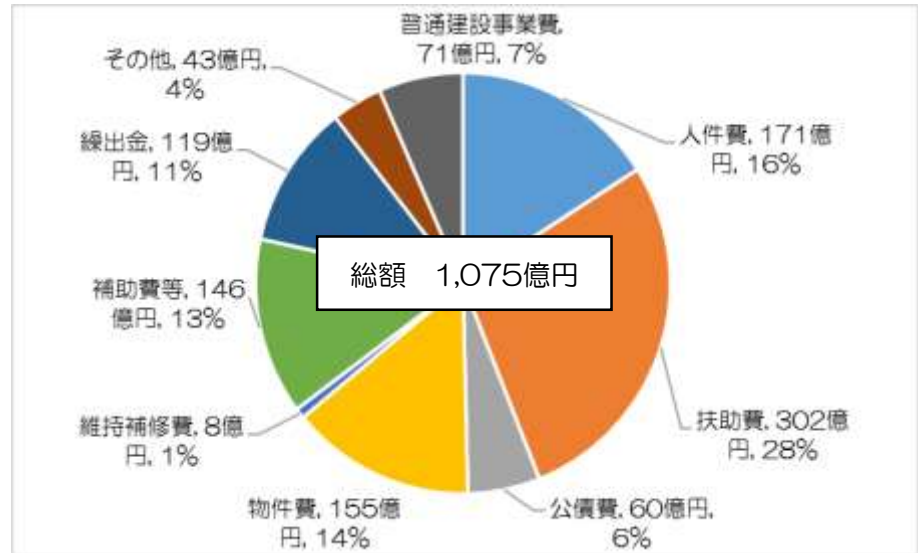
前期基本計画では、歳出として総額1,027億円を見込んでいたが、決算の状況を見ると、総額1,075億円で、48億円の増加であった。扶助費が計画値よりも16億円（5.6％）増加し、公共施設等の整備のため、普通建設事業費が24億円（51.1％）増加したほか、基金への積立てに努めたことで、その他が38億円と大幅に増加した。

また、人件費は13億円（△7.1％）、物件費は9億円（△5.5％）、補助費等は12億円（△7.6％）の減額に努めた。

図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成24年度～28年度）策定時財政推計（歳出）



図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成24年度～28年度）決算の状況（歳出）



（２）後期基本計画における財政推計と決算状況（平成29年度～令和元年度）

①歳入比較

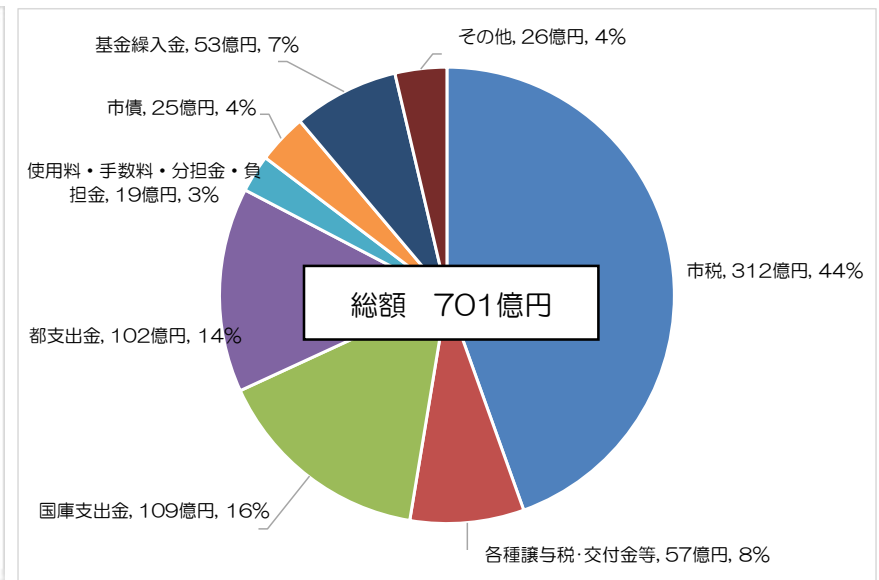
後期基本計画では、歳入として1,129億円を見込んでいる。平成29年度～令和元年度の3か年実績は、701億円で計画値よりも若干高く推移している。

市税収入は、計画値では、歳入全体の49%を占める構成比としているが、平成29年度～令和元年度の決算時では44%と歳入全体に占める市税の割合が低くなっている。また、各種譲与税・交付金の割合も下がっており、基金繰入金や市債等の活用により、財源補完を行っている状況にある。

図表 第五次羽村市長期総合計画後期基本計画
（平成29年度～令和3年度）策定時財政推計（歳入）



図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成29年度～令和元年度）決算の状況（歳入）

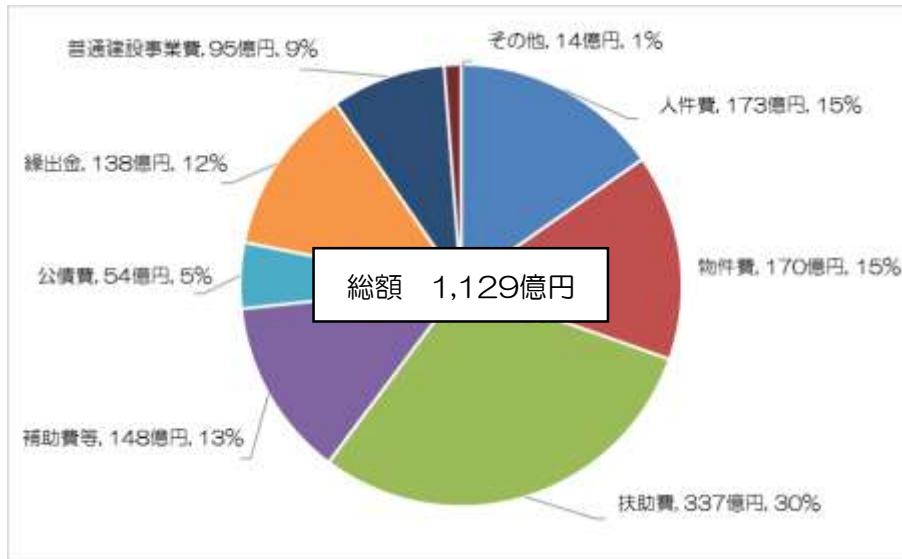


②歳出

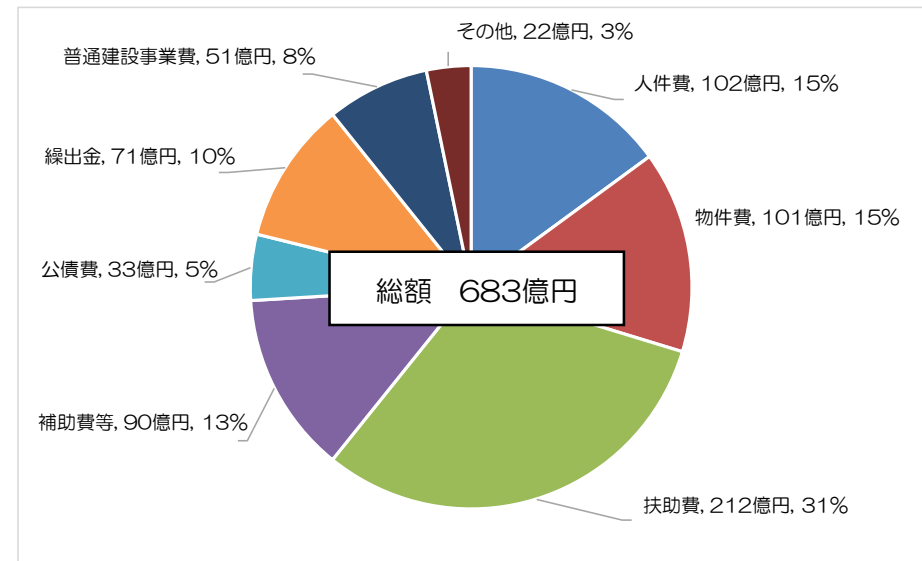
後期基本計画では、歳出として1,129億円を見込んでいる。

平成29年度～令和元年度の3か年の実績は、683億円で計画値よりも若干高い数値で推移している。全体の構成比では、扶助費が計画値の割合を若干上回っている一方で、繰出金・普通建設事業費の割合は、計画値を若干下回っている状況にある。

図表 第五次羽村市長期総合計画後期基本計画
（平成29年度～令和3年度）策定時財政推計（歳出）



図表 第五次羽村市長期総合計画前期基本計画
（平成29年度～令和元年度）決算の状況（歳出）



⑤ 基本目標ごとの取組状況・現況・市民意識、基本計画プロジェクトの進捗



第五次羽村市長期総合計画では、基本目標や、基本目標及び施策の枠組みを超えた基本計画プロジェクトに沿って、取組みを進めています。

ここでは、基本目標ごとに、取組みの状況や、羽村市の現況、市民の意識についてまとめるとともに、後期基本計画における基本計画プロジェクトの進捗状況をまとめています。

基本目標及び基本計画プロジェクトの概要

基本目標1	基本目標2	基本目標3	基本目標4	基本構想を推進するために
生涯を通じて学び育つまち 【子ども・生涯学習の分野】	安心して暮らせる 支えあいのまち 【福祉・健康の分野】	ふれあいと活力の あふれるまち 【市民生活・産業の分野】	ひとと環境にやさしい 安全で快適なまち 【環境・都市整備の分野】	
施策1 子育て～ 施策5 生涯学習	施策6 地域福祉～ 施策11 保健・医療	施策12 市民活動～ 施策22 消費生活	施策23 自然環境～ 施策33 下水道	施策34 行政運営～ 施策35 経営管理



- 前期基本計画 … はむらの「絆」プロジェクト
- 後期基本計画 … はむら輝プロジェクト

項目について

各基本目標は、以下の項目でまとめています。

項 目	説 明
基本施策、施策、関連計画の体系	それぞれの基本目標における、基本施策、施策、関連計画を整理しています。
施策別「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」	施策ごとに、「基本指針」、後期基本計画における「計画の方向性」、「実施事業」及び、「『これまでの取組み』と『今後2年間の方向性』」を整理しています。 「実施事業」では、令和2年5月末を基準日として、平成24年度以降に実施した「新たな事業」、「主な事業」及び、「検討段階にある主な事業」を掲載しています。 「『これまでの取組み』と『今後2年間の方向性』」では、計画の方向性ごとに、令和2年5月末を基準日として、これまでの取組みの状況及び、後期基本計画の終期となる令和3年度までの方向性を記載しています。
羽村市の現況	基本計画の分野に関連する現況について、各種計画書を参考に、統計データとしてとりまとめ、分析結果を記載しています。
市民の意識	令和2年度に実施した市政世論調査や転入者アンケートの結果を分析し、記載しています。

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

基本目標1における基本施策は以下のとおりです。また、次ページでは、基本目標1における基本施策、施策、関連計画の体系をまとめています。

基本施策

① 子育て支援と保育・幼児教育の充実

未来を担う子どもたちが、健やかに育ち、大切にされる社会の実現を目指し、地域全体で子育てを支援します。

子どもの成長過程において重要な役割を果たす保育や幼児教育について、質的向上や施設などの環境整備を推進していくとともに、小学校への円滑な就学を支援します。

② 学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成

小中学校の義務教育期間を通して、児童・生徒の個性や能力を最大限に伸ばすことができるきめ細かな教育を推進します。

豊かな知性、感性、道徳心や体力を育み、子どもたちが、人間性豊かに成長することができる羽村らしい特色ある教育を推進します。

すべての子どもが、それぞれの特性にあった教育を受けられるよう多様な支援を図ります。

子どもや若者が、社会の一員としての自覚と責任を持ち、将来に夢をもてる社会環境の整備に努めます。

③ 生涯学習の推進

地域における課題解決のための学習や活動が推進されるよう、さまざまな生涯学習活動の機会の充実などにより支援を行います。

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも学び、その成果を生活の向上や地域づくりに生かし、生涯を通じて心身ともに充実した人生を送ることができる環境を整備します。

基本施策、施策、関連計画の体系

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

基本施策1 子育て支援と保育・幼児教育の充実

施策	関連計画
施策1 子育て	▶ 第2期羽村市子ども・子育て支援事業計画
施策2 保育・幼児教育	

基本施策2 学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成

施策	関連計画
施策3 学校教育	▶ 羽村市生涯学習基本計画 ▶ 第3次羽村市小中一貫教育基本計画 ▶ 第3次羽村市子ども読書活動推進計画
施策4 子ども・若者	
	▶ 第2期羽村市子ども・子育て支援事業計画

基本施策3 生涯学習の推進

施策	関連計画
施策5 生涯学習	▶ 羽村市生涯学習基本計画 ▶ 羽村市スポーツ推進計画 ▶ 第3次羽村市子ども読書活動推進計画

施策別「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」

施策1 子育て



基本方針

すべての子どもが良質な成育環境のもとで、健やかに育つことができるよう支援を行います。
また、市民、関係機関、事業者などと連携して、地域全体で子育て家庭を支援する環境を整備します。

計画の方向性

1. 妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供
2. 地域や関係機関と連携した支援の充実

実施事業

【新たな事業】

- ＊子育て世代包括支援センターの設置・運営
 - ▷ 母子手帳交付時全数面接、育児パッケージ配布、支援プランの作成
 - ▷ 産後ケア事業、子育て相談カンファレンスの実施
- ＊ウェルカムベビークーポン券の交付
- ＊児童虐待防止対策の強化
 - ▷ 家庭児童相談システムの導入、主任虐待対策ワーカーの配置

【主な事業】

- ＊訪問型子育て支援サービス事業（乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問）の充実
- ＊子育て力向上のための支援
- ＊あかちゃん休憩室事業の充実
- ＊ファミリー・サポート・センター事業の推進

施策1 子育て

「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」

1. 妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供

妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援の提供では、平成29年6月に子育て世代包括支援センター『羽っぴー』を開設し、母子健康手帳配布時の全数面接、妊産婦の状況に応じた支援プランの作成、育児パッケージの配布、産後ケア事業などを実施しました。

また、訪問型子育て支援サービス事業として乳児家庭全戸訪問や養育支援訪問などに取り組んできました。

今後も引き続き、妊産婦の心身のケア、養育困難家庭への支援、児童虐待の防止など、子育て支援事業の充実に取り組んでいきます。



▲子育て世代包括支援センター「羽っぴー」の相談の様子

2. 地域や関係機関と連携した支援の充実

地域や関係機関と連携した支援の充実では、要保護児童対策地域協議会、子育て世代包括支援センター「羽っぴー」連絡会議等の開催を通じて、地域や関係機関との連携を図りながら養育支援訪問事業、ファミリー・サポート・センター事業、子育てボランティアの育成等を実施し、子育て支援の充実に取り組んできました。

養育支援が必要な家庭は増加傾向にあることから、引き続き、地域のネットワークを強化する取組みを促進し、子育て世帯が地域で安心して子育てができる環境整備に努めます。

ひとり親家庭の支援では、生活の安定に向けた母子・父子自立支援員による指導・助言のほか、経済的な自立を促すために、ハローワークと連携し就業支援に取り組んできました。

ひとり親家庭が安定した生活の中で子どもを健やかに育てていくためには、児童福祉、母子保健などの社会福祉、雇用、教育など、多岐に渡る総合的な支援が必要であることから、今後は、関係部署や関係機関との連携をより一層強化し、個々の家庭の状況に応じたきめ細かな自立支援の充実を図っていきます。



▲子育てひろば（地域子育て支援センター）の様子（太陽の子保育園）

施策2 保育・幼児教育



基本方針

乳幼児期にある子どもたちが健やかに成長できるよう、保育・幼児教育環境の整備・支援に取り組むとともに、小学校への円滑な就学を支援します。

計画の方向性

1. 保育・幼児教育の充実
2. 幼児期から小学校就学期への移行支援

実施事業

【新たな事業】

- ＊子ども子育て会議の設置・運営
- ＊幼児教育・保育の無償化の実施
- ＊病児保育事業の実施
- ＊認証保育所利用者に対する保育料負担軽減補助事業
- ＊保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金の交付
- ＊発達支援体制の構築

【主な事業】

- ＊市立保育園の民営化の推進
- ＊民間保育園施設整備の支援
- ＊幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会の運営

「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」

1. 保育・幼児教育の充実

保育・幼児教育の充実では、民間保育園の園舎整備に対して財政的支援を行い、保育需要の高い低年齢児を中心とした定員拡大を図るとともに、就労形態の多様化や共働き家庭の増加などによるニーズの多様化に対応するため、延長保育、病児・病後児保育、一時預かり事業等の保育サービスの充実を図り、良質な保育・幼児教育の提供体制の確保・充実に努めてきました。

また、保育従事職員宿舍借り上げ支援事業や保育所等における児童の安全対策強化事業などを実施し、保育人材の確保、保育士の業務負担の軽減を図ることにより、保育環境の充実、保育・幼児教育の質の更なる向上に努めてきました。こうした取組みにより、現時点では、保育需要に対する提供体制は、質と量の両面において十分確保できているものと捉えています。

今後は、幼児教育・保育の無償化や、新たな企業の市内進出に伴う保育需要の増加が見込まれる一方で、少子化の進行は、当面続くことが想定されることから、見込まれる保育需要を的確に見定め、保育・幼児教育の安定的な提供に努めていきます。

2. 幼児期から小学校就学期への移行支援

幼児期から小学校就学期への移行支援では、幼稚園・保育園・小学校連携推進懇談会において、部会を中心とした情報交換・意見交換の実施や、部会員の意見を取り入れた交流事業を実施しており、現場レベルでの連携・交流は深まってきていると認識していることから、今後は、部会員同士の交流を深めていく中で、学校区ごとに自主的な連携・交流が図られるよう促していきます。

また、市内幼稚園・保育園等の巡回相談、子どもの発達に関する総合相談、ちょっとした広場による専門相談を実施

し、必要に応じて各種事業で得た子どもの発達にかかる情報を小学校に情報提供しており、引き続き、プロジェクトチームを中心に、学校・庁内各部署における子どもの発達にかかる情報共有のあり方や組織横断的な発達支援体制の連携について検討していきます。

さらに、発達に課題のある児童等の早期支援につなげていくため、「特別支援教育連絡協議会」や「羽村市特別支援教育推進委員会」を開催し、課題や方向性の共有に取り組んでいます。

今後は、保護者の同意が得られない発達障害やその可能性のある児童・生徒の情報の引継ぎについて、保護者の承諾を得られるように理解を促すことなどを検討する必要があるほか、中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級の設置に関する検討も進めるなど、中・長期的な計画に基づき、乳幼児期から就学時へのスムーズな引継ぎや、将来の就労を見据えた進路選択ができる切れ目のない支援体制の構築に向けて、組織横断的な情報連携について検討していきます。



▲建て替えを完了した羽村しらうめ保育園

施策3 学校教育



基本方針

児童・生徒一人ひとりの個性と能力を最大限伸ばすとともに、「生きる力」を育み、豊かな人間性と社会性を身につけさせるため、小中一貫教育を中心とした学校教育の充実を図ります。

計画の方向性

1. 小中一貫教育を柱とした教育の充実
2. 多様なニーズに応じた教育の充実
3. 教育環境の整備

実施事業

【新たな事業】

- ＊就学支援シート「はばたきファイル」の作成
- ＊全校で特別支援教室を実施
- ＊通学路への防犯カメラの設置
- ＊オリンピック・パラリンピック教育の推進
- ＊教育相談室への校務支援システムの導入

【検討段階にある主な事業】

- ＊学習サポーターの中学校への配置

【主な事業】

- ＊小中一貫教育の充実
 - ▷ 学力向上の取組みの推進
 - ▷ 英語教育の充実
- ＊教育用コンピューターの維持・更新
- ＊学校図書館総合管理システムの更新・導入
- ＊多様なニーズに応じた教育相談の充実
- ＊多様なニーズに応じた特別支援体制の充実
- ＊発達支援体制の構築
- ＊学校等改修等事業の実施
 - ▷ 小・中学校防音機能復旧（機器取替）事業（栄小学校・西小学校・羽村第一中学校）
 - ▷ 羽村第一中学校芝生設置等工事
 - ▷ 小・中学校屋上防水改修工事（羽村第二中学校・羽村東小学校・栄小学校）
 - ▷ 小・中学校体育館改修工事（非構造部材対策）
 - ▷ 小作台小学校大規模改修工事
 - ▷ 小・中学校のトイレ改修工事
 - ▷ 羽村第二中学校プールの改修

施策3 学校教育

「これまでの取り組み」と「今後2年間の方向性」

1. 小中一貫教育を柱とした教育の充実

小中一貫教育を柱とした教育の充実では、算数・数学を中心とした学力向上に向けた取り組みや、小学校5・6年生の英語の教科化に向けた小学校1年生からの英語教育の充実のほか、読書活動や音楽教育の充実に取り組んできました。

また、地域の特性を生かした教育活動を展開するよう、特色ある学校づくりに取り組むほか、東京2020大会の開催に向けて小・中学校全校で、オリンピック・パラリンピック教育として、ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、豊かな国際感覚などの資質を重点的に育成することに取り組んできました。さらに、中学校生徒の学力向上に向けた学習サポーターの配置について検討を進めています。

現在は、新学習指導要領の全面実施により、「外国語活動の教科化」や「情報活用能力の向上とそれに伴う環境整備」など、教育環境を取り巻く課題等は大きく変化しており、主体的に課題解決できる力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力など、「生きる力」を育むことが求められていることから、令和2年2月に策定した「第3次羽村市小中一貫教育基本計画」に基づき、『生きる力を育むために』の考えを基本に、様々な取り組みを進めています。

2. 多様なニーズに応じた教育の充実

多様なニーズに応じた教育の充実では、臨床心理士のスクールカウンセラーや教育相談員、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）を中心に専門性の高い人材と関係機関との連携による相談や支援体制の充実に取り組んできました。

また、多様化するいじめや不登校の対応については、家庭環境を起因とする児童・生徒、保護者の対応や情緒的な問題、精神疾患、発達特性や一部発達障害を起因とする事柄など、多様化する課題に対して、スクールソーシャルワーカーや家庭と子どもの支援員の配置により、学校の教職員とともに、未然防

止や早期発見、早期対応に努めてきました。

今後も引き続き、医療や福祉などの関係機関と情報連携しながら、専門的な知識・立場で役割分担し、支援を同時に進行するよう検討していきます。

さらに、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、特別支援学級および特別支援教室の充実や、特別支援教育支援員の配置、教員の専門性の向上、全ての学校でユニバーサルデザインの考えを生かした授業づくり・学習環境整備を進めるなど、基礎的環境整備や合理的配慮を充実させるインクルーシブ教育システムの構築を進め、特別支援教育体制の充実に取り組んできました。

現在、通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒は増加傾向にあり、現行の人数以上の人的配慮が必要となるほか、児童・生徒への指導上の配慮など、教員の特別支援教育に関する専門性や資質の向上が求められており、それぞれのステージに合った特別支援教育に関する研修会の充実などについて検討していきます。

3. 教育環境の整備

教育環境の整備では、教育用コンピューターや学校図書館総合管理システムを更改するとともに「羽村市公共建築物維持保全計画」に基づき、学校教育施設の整備に取り組んできました。

現在、新学習指導要領では、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」として新たに位置付けられるなど、ICT環境の整備の充実が求められています。また、学校教育施設の老朽化が進んできており、施設の長寿命化を図りながら対応しています。

今後も引き続き、万全な教育環境を維持していけるよう、努めていきます。

施策4 子ども・若者



基本方針

子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。

計画の方向性

1. 子どもや若者への支援の推進
2. 子どもの放課後対策の充実

実施事業

【新たな事業】

- ✳放課後子ども教室の開設（全小学校）
- ✳ひきこもりに関する相談会の実施
- ✳ひきこもりに関する講演会の実施

【主な事業】

- ✳青少年健全育成事業等の実施
- ✳地域活動団体への支援

【検討段階にある主な事業】

- ✳ひきこもりに関する相談窓口設置の検討
- ✳放課後子ども総合プラン推進の検討

「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」

1. 子どもや若者への支援の推進

子どもや若者への支援の推進では、少年少女球技大会、大島・子ども体験塾、「青少年健全育成の日」事業をはじめとする各種事業、また、非行防止を図るための市内パトロールの強化、若者のひきこもりに関する講演会・相談会の実施などにより、子どもたちの健全育成や若者支援に取り組んできました。

今後は、各種事業の実施にあたっては、近年の猛暑等を踏まえ、子どもたちの安全確保と健康管理に万全を期すとともに、全国的に若者のひきこもりの問題が深刻化していることから、相談窓口の設置や情報提供のあり方について、引き続き検討していきます。



▲少年少女球技大会（キックベース）の様子

2. 子どもの放課後対策の充実

子どもの放課後対策の充実では、学童クラブ、児童館、放課後子ども教室で実施している各種事業の充実に取り組んできました。

また、学童クラブ、児童館、放課後子ども教室の運営にあたり、民間活力の導入や学校施設を活用した学童クラブの運営についても検討してきました。

当分の間は、現状の運営体制を継続し、一部の地域において生じている学童クラブの待機児童の解消に向けた対策を検討していきます。



▲大島・子ども体験塾の様子

施策5 生涯学習



基本方針

だれもが生涯を通じて、心身ともに健康で充実した心豊かな生活を送ることができるよう、あらゆる機会に、あらゆる場所において、個人の要望と社会の要請に対応した学習活動と、その成果を適切に生かすことのできる環境を整備します。

計画の方向性

1. 学習活動の活性化
2. 学習成果の積極的な活用

実施事業

【新たな事業】

- * 伝統文化交流事業 in ゆとろぎの実施
- * 青少年スポーツ・文化活動等への支援
- * 健康スポーツフォーラムの実施
- * スポーツ習慣定着促進事業の実施
- * 羽村市・キルギス共和国友好親善コンサートの実施
- * ウォーキングマップの作成
- * 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会成功に向けた取組みとスポーツの推進
- * 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラム関連事業の実施
- * 多摩川中上流域上総層群調査研究プロジェクト

【主な事業】

- * 読書手帳の配布
- * 国民体育大会の開催
- * 生涯学習センターゆとろぎ開館10周年記念事業の実施
- * 図書館の機能・サービスの充実
- * 生涯学習センターゆとろぎ市民協働事業の推進
- * 社会教育関係団体の活動の充実に向けた支援

【検討段階にある主な事業】

- * 生涯学習コーディネート機能の運用

「これまでの取組み」と「今後2年間の方向性」

1. 学習活動の活性化

学習活動の活性化では、以下のとおり、生涯学習の推進、市民の学習機会の支援、読書活動の推進、東京2020大会を契機としたスポーツや文化芸術の取組み、スポーツ施設の整備、郷土意識のさらなる醸成などに取り組みました。

- 生涯学習センターゆとろぎを拠点に、生涯学習基本計画に定める各ライフステージに応じた講座、芸術鑑賞事業に年間を通じて取り組んだほか、文化協会と連携した各種事業等を実施し、市民が知識や教養を身につける機会の提供に取り組んできました。各種事業では、より一層の充実を図るため、事業内容・募集方法等に関する検討を進めていきます。
- 図書館では、市民の読書習慣の定着を進めるため、幼少期から本に親しむよう、お話し会や各種イベント、本の展示、読書手帳の配布と表彰などに取り組んできました。近年では、特に若者世代の読書離れ、図書館離れがあり、図書館来館者数及び、資料の貸出数が減少傾向にあることから、引き続き、図書館機能の利便性の向上を図るなど、読書活動の推進に努めていきます。
- 東京2020大会を契機とした取組みでは、多摩島しょスポーツ習慣定着促進事業を実施し、スポーツを通じた健康づくりの推進に取り組んだほか、ゆとろぎで実施する講座、芸術鑑賞事業の一部を東京2020文化オリンピックアードの認証を受けて実施し、文化芸術への市民参加の促進に取り組んできました。引き続き、東京2020大会を目途に、スポーツや文化・芸術に関する取組みを進めていきます。
- スポーツ施設の整備では、市民が安全、快適でより使いやすいスポーツ施設となるよう、各公共施設の老朽化への対応などを検討していく必要があり、市民ニーズを的確に捉えると

ともに、財政状況を踏まえながら、計画的に整備を進められるよう、検討していきます。

- 郷土博物館では、郷土羽村について学ぶ機会を提供するため、土木遺産の認定を受けた羽村堰、中里介石や養蚕、動植物などの様々な資料に関する調査・研究の成果を常設展示、野外展示や講座等を通じて発信することに取り組んできました。引き続き、郷土意識の醸成や市民の知的欲求に応える取組みを推進していきます。

2. 学習成果の積極的な活用

学習成果の積極的な活用では、市民が自主的・自発的に地域のために活躍できるよう、市民ボランティアの育成支援として、市民活動ボランティア講座や、東京2020大会に向けたボランティア事業に取り組んできました。

郷土博物館では、小学校4年生の社会科見学や大人の団体見学時に、主に玉川上水の歴史などについて解説しているほか、展示、講座及び紀要への論考掲載などを通じて、郷土に関する調査・研究の成果を市民に還元することに取り組んできました。

また、「市民活動団体ガイド、団体・サークルガイド」及び、「はむら人ネットガイド」を作成し、配布及び市公式サイトに掲載するとともに、団体が行う事業の経費の一部に対する補助金の交付に取り組んできました。

今後も引き続き、循環型の生涯学習の進展を図る様々な取組みを進めていくとともに、「生涯学習コーディネート機能の運用」について、実施に向けた検討を進めていきます。

羽村市の現況

<基本目標1>

（1）保育・幼児教育

①保育園数・定員及び在籍園児数の推移

保育園数・定員及び在籍園児数の推移を見ると、平成22（2010）年までは定員を在籍園児数が上回っていたが、平成23（2011）年から平成25（2013）年までは在籍園児数が定員を下回り、平成26（2014）年以降は定員を在籍園児数が上回っている。

図表 保育園数・定員及び在籍園児数の推移

（単位：園、人）

年次	園数	定員	在籍園児数
平成21年（2009）	12	1,185	1,191
平成22年（2010）	12	1,185	1,192
平成23年（2011）	12	1,221	1,186
平成24年（2012）	12	1,230	1,221
平成25年（2013）	12	1,230	1,221
平成26年（2014）	12	1,234	1,266
平成27年（2015）	12	1,238	1,257
平成28年（2016）	13	1,258	1,290
平成29年（2017）	13	1,255	1,306
平成30年（2018）	13	1,250	1,306

資料 羽村市「統計はむら 平成30年度版」（平成30（2018）年3月）

②幼稚園園児数等の推移

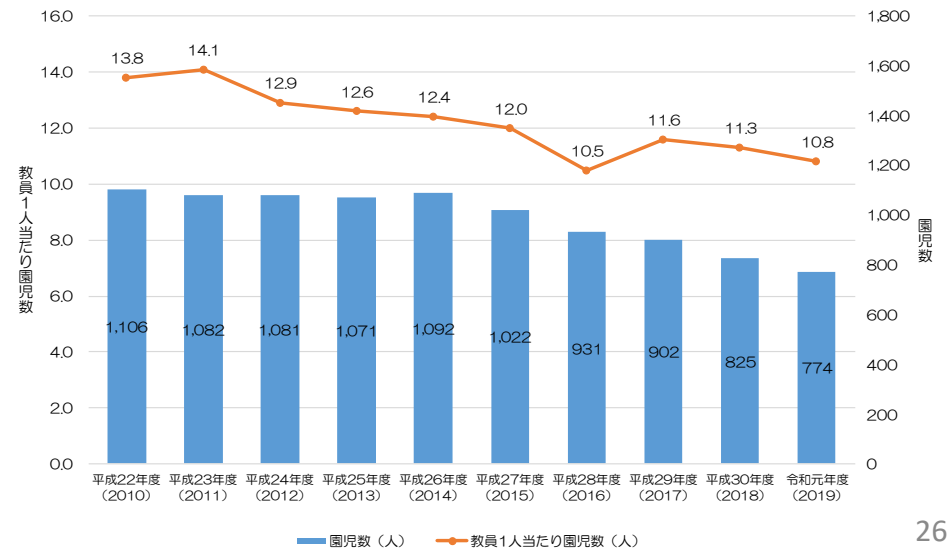
幼稚園園児数の推移を見ると、年により若干の増減はあるものの、減少傾向にある。

教員1人当たりの園児数は、平成23（2011）年以降減少傾向にあり、平成28（2016）年度には、10.5人と大きく減少した。

令和元（2019）年度は10.8人となっており、平成23（2011）年からの8年間で、3.3人減少している。

図表 幼稚園園児数等の推移

（単位：人）



資料 東京都「学校基本統計（学校基本調査報告書）」

③多摩26市の待機児童数等の比較

羽村市の待機児童数は、平成30（2018）年の4人から平成31（2019）年に6人となっている。就学前児童人口は、14人減少している。多摩26市の中では、福生市のみ待機児童数が0人となっている（平成31年4月1日現在）。

図表 多摩26市の待機児童数等の比較（平成29年、平成30年）

（単位：人、%、数値は各年4月1日現在）

市名	平成30年（2018）				平成31年（2019）				増減（H30→H31）			
	就学前 児童人口	保育サービス 利用児童数	就学前児童 人口比率	待機児童数	就学前 児童人口	保育サービス 利用児童数	就学前児童 人口比率	待機児童数	就学前 児童人口	保育サービス 利用児童数	就学前児童 人口比率	待機児童数
八王子市	23,600	11,400	48.3%	56	22,839	11,396	49.9%	26	△ 761	△ 4	1.6%	△ 30
立川市	8,796	3,982	45.3%	48	8,717	4,106	47.1%	57	△ 79	124	1.8%	9
武蔵野市	7,184	3,483	48.5%	53	7,281	3,182	43.7%	47	97	△ 301	△ 4.8%	△ 6
三鷹市	9,493	3,904	41.1%	190	9,467	4,113	43.4%	114	△ 26	209	2.3%	△ 76
青梅市	5,217	3,131	60.0%	13	4,925	3,055	62.0%	4	△ 292	△ 76	2.0%	△ 9
府中市	13,603	5,689	41.8%	248	13,332	5,892	44.2%	146	△ 271	203	2.4%	△ 102
昭島市	5,514	2,931	53.2%	35	5,422	2,899	53.5%	12	△ 92	△ 32	0.3%	△ 23
調布市	12,121	5,591	46.1%	167	12,262	5,935	48.4%	182	141	344	2.3%	15
町田市	18,863	7,958	42.2%	146	18,458	8,188	44.4%	127	△ 405	230	2.2%	△ 19
小金井市	6,115	2,659	43.5%	88	6,261	2,881	46.0%	111	146	222	2.5%	23
小平市	9,900	4,063	41.0%	96	10,167	4,194	41.3%	96	267	131	0.3%	0
日野市	9,217	4,129	44.8%	139	9,053	4,337	47.9%	46	△ 164	208	3.1%	△ 93
東村山市	6,541	2,795	42.7%	5	6,436	2,917	45.3%	91	△ 105	122	2.6%	86
国分寺市	5,909	2,733	46.3%	202	6,124	2,932	47.9%	125	215	199	1.6%	△ 77
国立市	3,412	1,528	44.8%	53	3,411	1,600	46.9%	46	△ 1	72	2.1%	△ 7
福生市	2,258	1,388	61.5%	0	2,231	1,402	62.8%	0	△ 27	14	1.3%	0
狛江市	4,165	1,809	43.4%	75	4,165	2,030	48.7%	68	0	221	5.3%	△ 7
東大和市	4,330	2,152	49.7%	24	4,190	2,174	51.9%	48	△ 140	22	2.2%	24
清瀬市	3,374	1,419	42.1%	44	3,318	1,484	44.7%	28	△ 56	65	2.6%	△ 16
東久留米市	5,497	2,299	41.8%	38	5,429	2,452	45.2%	28	△ 68	153	3.4%	△ 10
武蔵村山市	3,447	1,926	55.9%	39	3,429	1,931	56.3%	28	△ 18	5	0.4%	△ 11
多摩市	6,525	3,082	47.2%	83	6,396	3,109	48.6%	77	△ 129	27	1.4%	△ 6
稲城市	6,109	2,175	42.6%	54	5,089	2,310	45.4%	14	△ 20	135	2.8%	△ 40
羽村市	2,469	1,417	57.4%	4	2,385	1,403	58.8%	6	△ 84	△ 14	1.4%	2
あきる野市	3,566	1,872	52.5%	8	3,502	1,946	55.6%	9	△ 63	74	3.1%	1
西東京市	9,431	3,967	42.1%	129	9,516	4,250	44.7%	108	85	283	2.6%	△ 21

羽村市の現況

④多摩26市の教員1人当たり園児数

令和元（2019）年度の多摩26市の教員1人当たり園児数について見ると、羽村市は10.8人で、26市の中では、青梅市、福生市、あきる野市に次いで、少ない方から4番目となっている。

図表 多摩26市の教員1人当たり園児数（令和元（2019）年度）

（単位：人）

市名	幼稚園数	学級数	教員数	在園者数	教員1人当たり園児数
多摩26市計	283	2,205	3,737	51,855	13.9
八王子市	31	261	415	5,581	13.4
立川市	12	87	163	2,310	14.2
武蔵野市	12	82	146	1,882	12.9
三鷹市	17	119	226	3,099	13.7
青梅市	6	29	45	454	10.1
府中市	19	153	260	3,949	15.2
昭島市	7	46	70	961	13.7
調布市	15	115	194	2,689	13.9
町田市	35	264	515	5,659	11.0
小金井市	7	41	73	1,078	14.8
小平市	15	126	221	3,359	15.2
日野市	14	80	158	2,006	12.7
東村山市	10	72	125	1,662	13.3
国分寺市	4	37	58	1,013	17.5
国立市	9	44	70	918	13.1
福生市	4	22	38	393	10.3
狛江市	3	30	59	913	15.5
東大和市	3	33	46	766	16.7
清瀬市	7	73	114	1,419	12.4
東久留米市	7	64	102	1,420	13.9
武蔵村山市	4	33	57	846	14.8
多摩市	8	76	120	1,903	15.9
稲城市	7	73	131	1,906	14.5
羽村市	7	42	72	774	10.8
あきる野市	6	45	83	856	10.3
西東京市	13	109	185	2,832	15.3

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

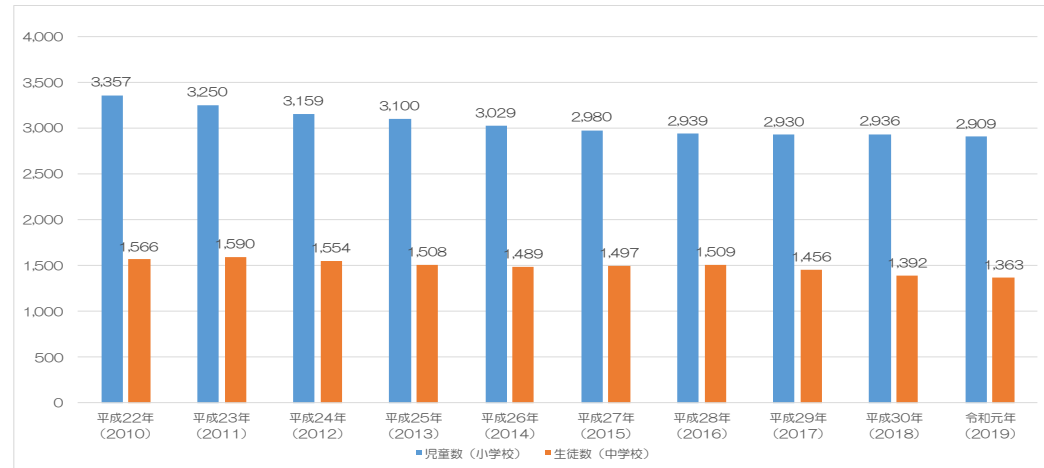
(2) 学校教育

①児童・生徒数の推移

小学校児童数（学校数7）、中学校生徒数（学校数3）を見ると、年により増減はあるものの、全体的に減少傾向にある。

小学校児童数は、平成22（2010）年以降、減少が続いている。

図表 児童・生徒数の推移（単位：人）



資料 羽村市「各年度事務報告書」（各年8月）

図表 小中学校の学校別児童・生徒数の推移

（単位：人、％ 各年5月1日現在）

②羽村市の小中学校の学校別児童・生徒数の推移

市全体の児童・生徒数は、平成21（2009）年以降、減少傾向にある。

		平成21年 (2009)	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)
小学校	羽村東	実数	434	399	380	374	371	361	359	358	358
	羽村東	増減率		-8.1	-4.8	-1.6	-0.8	-2.7	-0.6	0.0	0.0
	羽村西	実数	501	481	485	465	450	427	437	435	434
	羽村西	増減率		-4.0	0.8	-4.1	-3.2	-5.1	515.0	-0.5	-0.2
	富士見	実数	613	595	575	571	539	533	515	527	544
	富士見	増減率		-2.9	-3.4	-0.7	-5.6	-1.1	368.0	2.3	3.2
	栄	実数	475	458	435	400	372	372	368	361	370
	栄	増減率		-3.6	-5.0	-8.0	-7.0	0.0	-1.1	-1.9	2.5
	松林	実数	241	231	226	216	209	200	194	190	188
	松林	増減率		-4.1	-2.2	-4.4	-3.2	-4.3	-3.0	-2.1	-1.1
	小作台	実数	491	477	448	445	443	435	427	428	423
	小作台	増減率		-2.9	-6.1	-0.7	-0.4	-1.8	-1.8	0.2	-1.2
中学校	武蔵野	実数	602	609	610	590	603	604	586	564	548
	武蔵野	増減率		1.2	0.2	-3.3	2.2	0.2	-3.0	-3.8	-2.8
	小学校合計	実数	3,357	3,250	3,159	3,100	3,029	2,980	2,939	2,930	2,936
	小学校合計	増減率		-3.2	-2.8	-1.9	-2.3	-1.6	-1.4	-0.3	0.2
	羽村一	実数	673	699	662	628	603	616	632	603	589
	羽村一	増減率		3.9	-5.3	-5.1	-4.0	2.2	2.6	-4.6	-2.3
	羽村二	実数	510	542	595	577	587	589	589	553	505
	羽村二	増減率		6.3	9.8	-3.0	1.7	0.3	0.0	-6.1	-8.7
	羽村三	実数	383	349	297	270	269	266	260	271	269
	羽村三	増減率		-8.9	-14.9	-9.1	-0.4	-1.1	-2.3	4.2	-0.7
	中学校合計	実数	1,566	1,590	1,554	1,508	1,489	1,497	1,509	1,456	1,392
	中学校合計	増減率		1.5	-2.3	-3.0	-1.3	0.5	0.8	-3.5	-4.4

資料 羽村市「各年度事務報告書」（各年8月）

羽村市の現況

③多摩26市の1学級当たり児童数及び生徒数

令和元（2019）年9月現在の羽村市の1学級当たり児童・生徒数及び、教員1人あたり児童・生徒数は、多摩26市全体と比較して、小学校・中学校ともに下回っている。

図表 多摩26市の1学級当たり児童数及び生徒数

（単位：人、学級）

市名	公立小学校					公立中学校				
	児童数	学級数	教員数	1学級 当たり 児童数	教員1人 当たり 児童数	生徒数	学級数	教員数	1学級 当たり 生徒数	教員1人 当たり 生徒数
八王子市	27,319	990	1,700	27.6	16.1	15,410	506	1,069	30.5	14.4
立川市	8,637	295	515	29.3	16.8	3,742	118	237	31.7	15.8
武蔵野市	7,561	275	463	27.5	16.3	4,129	129	254	32.0	16.3
三鷹市	9,357	310	499	30.2	18.8	4,109	127	264	32.4	15.6
青梅市	6,088	235	401	25.9	15.2	3,188	114	260	28.0	12.3
府中市	14,307	470	752	30.4	19.0	6,117	184	369	33.2	16.6
昭島市	5,805	206	350	28.2	16.6	2,669	87	181	30.7	14.7
調布市	11,971	388	648	30.9	18.5	5,649	188	359	30.0	15.7
町田市	23,103	802	1,325	28.8	17.4	12,661	387	774	32.7	16.4
小金井市	6,098	195	306	31.3	19.9	3,763	123	238	30.6	15.8
小平市	10,576	350	581	30.2	18.2	4,795	149	289	32.2	16.6
日野市	9,326	308	512	30.3	18.2	4,218	128	256	33.0	16.5
東村山市	7,538	255	414	29.6	18.2	3,991	128	248	31.2	16.1
国分寺市	6,247	206	333	30.3	18.8	2,935	87	168	33.7	17.5
国立市	4,472	160	275	28.0	16.3	2,286	65	141	35.2	16.2
福生市	2,352	89	166	26.4	14.2	1,062	37	90	28.7	11.8
狛江市	3,518	116	199	30.3	17.7	1,286	42	94	30.6	13.7
東大和市	4,503	156	260	28.9	17.3	2,053	66	126	31.1	16.3
清瀬市	3,816	143	255	26.7	15.0	1,936	67	133	28.9	14.6
東久留米市	5,725	209	364	27.4	15.7	2,743	89	193	30.8	14.2
武蔵村山市	4,202	144	247	29.2	17.0	2,143	71	140	30.2	15.3
多摩市	7,293	268	481	27.2	15.2	3,772	126	263	29.9	14.3
稲城市	5,395	186	315	29.0	17.1	2,375	75	154	31.7	15.4
羽村市	2,909	104	178	28.0	16.3	1,363	44	90	31.0	15.1
あきる野市	4,337	170	264	25.5	16.4	2,410	79	171	30.5	14.1
西東京市	9,845	326	513	30.2	19.2	4,222	139	267	30.4	15.8
多摩26市合計	212,300	7,356	12,316	28.9	17.2	105,027	3,355	6,828	31.3	15.4

資料 東京都「学校基本統計（学校基本調査報告書）」

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

④ 1学級当たり児童・生徒数及び教員
1人当たり児童・生徒数等の推移

平成22（2010）年度から令和元（2019）年度にかけて、児童・生徒数は減少している。

また、平成22（2010）年度と令和元（2019）年度を比較すると、1学級当たり児童・生徒数、教員1人あたり児童・生徒数は、減少傾向にある。

図表 1学級当たり児童・生徒数及び教員1人当たり児童・生徒数等の推移

（単位：校、学級、人／基準日：各年5月1日）

年度	公立小学校						公立中学校					
	学校数	児童数	学級数	教員数	1学級 当たり 児童数	教員1人 当たり 児童数	学校数	生徒数	学級数	教員数	1学級 当たり 児童数	教員1人 当たり 児童数
平成22年度（2010）	7	3,357	109	172	30.8	19.5	3	1,566	46	86	34.0	18.2
平成23年度（2011）	7	3,250	106	171	30.7	19.0	3	1,590	49	95	32.4	16.7
平成24年度（2012）	7	3,159	107	175	29.5	18.1	3	1,554	48	95	32.4	16.4
平成25年度（2013）	7	3,100	103	172	30.1	18.0	3	1,508	47	92	32.1	16.4
平成26年度（2014）	7	3,029	100	174	30.3	17.4	3	1,489	45	92	33.1	16.2
平成27年度（2015）	7	2,980	103	174	28.9	17.1	3	1,497	45	93	33.3	16.1
平成28年度（2016）	7	2,939	101	174	29.1	16.9	3	1,509	48	96	31.4	15.7
平成29年度（2017）	7	2,930	103	180	28.4	16.3	3	1,456	47	91	31.0	16.0
平成30年度（2018）	7	2,936	104	184	28.2	16.0	3	1,392	44	90	31.6	15.5
令和元年度（2019）	7	2,909	104	178	28.0	16.3	3	1,363	44	90	31.0	15.1

資料 東京都「学校基本統計（学校基本調査報告書）」各年

⑤ 学童クラブ数・定員及び在籍児童数の推移

学童クラブ数・定員及び在籍児童数の推移を見ると、平成21（2009）年以降、在籍児童数は増加傾向にあり、平成22（2010）年までは定員を上回る在籍児童数となっていた。

平成23（2011）年以降は、施設数の増加に伴い定員が増加するとともに、在籍児童数の減少により、平成28（2016）年を除いて、定員を下回る在籍児童数となっている。

図表 学童クラブ数・定員及び在籍児童数の推移

（単位：施設数、人）

年次	施設数	定員	在籍児童数
平成23年（2011）	12	608	594
平成24年（2012）	12	608	583
平成25年（2013）	12	608	532
平成26年（2014）	12	608	582
平成27年（2015）	12	608	570
平成28年（2016）	12	608	631
平成29年（2017）	12	636	621
平成30年（2018）	12	636	626
平成31年（2019）	12	636	611
令和2年（2020）	12	636	632

資料 羽村市「統計はむら 平成30年度版」、児童青少年課資料

羽村市の現況

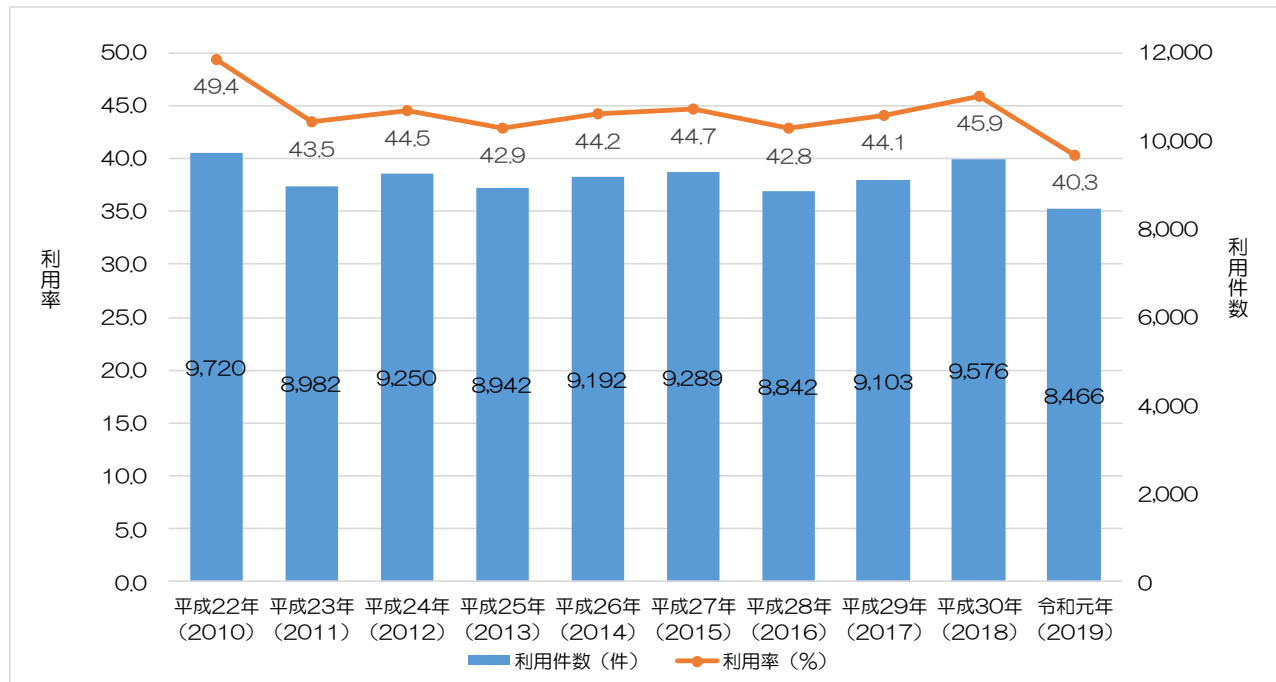
（3）生涯学習

① 生涯学習センターゆとろぎの利用件数と利用率の推移

平成22（2010）年度から令和元（2019）年度の生涯学習センターゆとろぎの利用件数と利用率を見ると、平成22（2010）年度以降、増減を繰り返しつつ、おおむね横ばいの状況となっている。

なお、令和元（2019）年度は、年度末に新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、新規の貸出しを中止し、既に予約をしていた団体等には利用の自粛を要請するなどの対応を行ったことなどから利用件数が大幅に減少している。利用率は40%台で推移している。

図表 生涯学習センターゆとろぎの利用件数と利用率の推移 （単位：件、%）



基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

② 図書館登録者数及び貸出冊数の推移

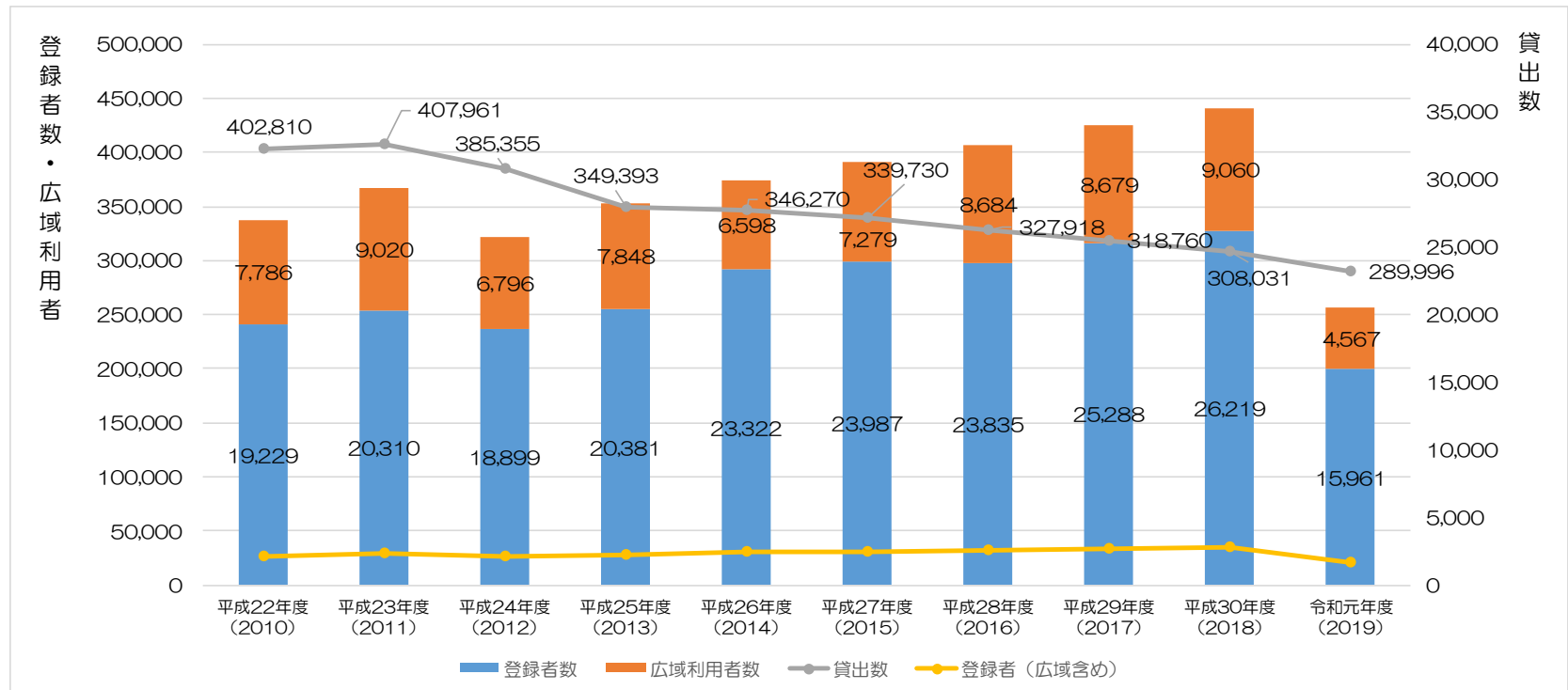
平成22（2010）年度から令和元（2019）年度の図書館登録者数をみると、平成30（2018）年度に26,219人となったが、令和元（2019）年度に、直近5年間利用のない登録者の除籍を行ったため、前年度から大幅減となった。

貸出数は、平成23（2011）年度以降、減少傾向にあり、令和元（2019）年度は、289,996件であった。

なお、令和元（2019）年度は、年度末に新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、開館時間の短縮などの対応を行った。

図表 図書館登録者数及び貸出件数の推移

(単位：単位：人、件)



羽村市の現況

③主要スポーツ施設の利用者数の推移

スポーツセンターの個人利用者は、平成24（2012）年度にスポーツセンター耐震改修工事等の影響で、大きく減少しているものの、それ以降は増加し、平成28（2016）年度には、6万6千人を上回った。また、スイミングセンター個人利用の利用者数は、年により増減はあるものの横ばいで推移している。令和元（2019）年度は、年度末に、新型コロナウイルス感染症対策のため、スタジオプログラム及び、卓球・ジム・スタジオの各個人利用を中止にした。

図表 主要スポーツ施設の利用者数の推移（単位：人）

年度	スポーツセンター個人利用				
	卓球室	トレーニングルーム	小計		合計
			大人	子ども	
平成22年（2010）	13,039	42,965	52,043	3,961	56,004
平成23年（2011）	13,222	44,085	53,026	4,281	57,307
平成24年（2012）	6,152	27,624	31,631	2,145	33,776
平成25年（2013）	11,261	40,495	47,983	3,773	51,756
平成26年（2014）	13,291	48,515	57,554	4,252	61,806
平成27年（2015）	12,737	51,500	59,870	4,367	64,237
平成28年（2016）	16,122	49,943	59,424	6,641	66,065
平成29年（2017）	15,520	50,368	60,005	5,883	65,888
平成30年（2018）	15,735	46,321	56,712	5,344	62,056
令和元年（2020）	13,357	42,242	51,564	4,035	55,599

年度	スイミングセンター個人利用					
	プール	トレーニング ルーム	スポーツ サウナ	小計		合計
				大人	子ども	
平成22年（2010）	77,579	23,178	6,324	—	—	107,081
平成23年（2011）	81,484	22,719	7,398	91,729	19,872	111,601
平成24年（2012）	67,773	29,211	5,936	85,191	17,729	102,920
平成25年（2013）	74,112	25,816	7,597	90,851	16,674	107,525
平成26年（2014）	72,884	25,840	8,318	91,077	15,965	107,042
平成27年（2015）	72,595	27,539	8,056	93,409	14,781	108,190
平成28年（2016）	73,701	26,379	7,530	91,684	15,926	107,610
平成29年（2017）	73,877	30,359	8,331	98,240	14,327	112,567
平成30年（2018）	71,944	29,447	8,450	94,932	14,909	109,841
令和元年（2020）	63,456	25,748	8,276	84,366	13,114	97,480

基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

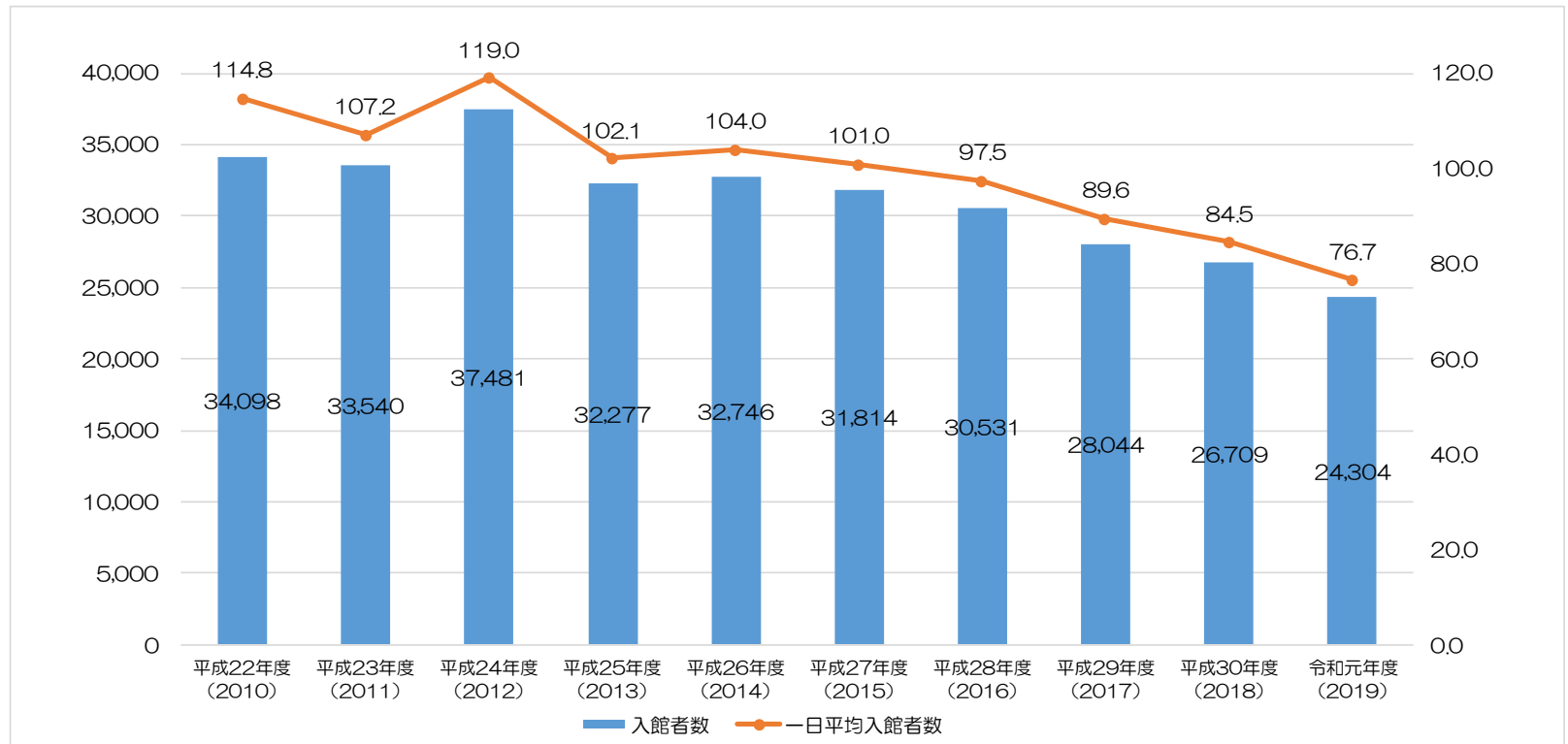
④ 郷土博物館の年間入館者数推移

郷土博物館の年間入館者数は、平成22（2010）年度以降、増減を繰り返していたが、平成26（2014）年度から毎年度減少しており、平成29（2017）年度には、3万人を下回った。

1日平均入館者数については、平成26（2014）年度以降、毎年度減少しており、平成28（2016）年度には、100人を下回った。
なお、令和元（2019）年度は、年度末に新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、展示スペースの利用を中止した。

図表 郷土博物館の年間入館者数推移

(単位：人)



資料 羽村市事務報告書（各年8月）

市民の意識

<基本目標1>

（1）市政世論調査結果（R2.10月速報値）

<基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】の満足度>

《満足》

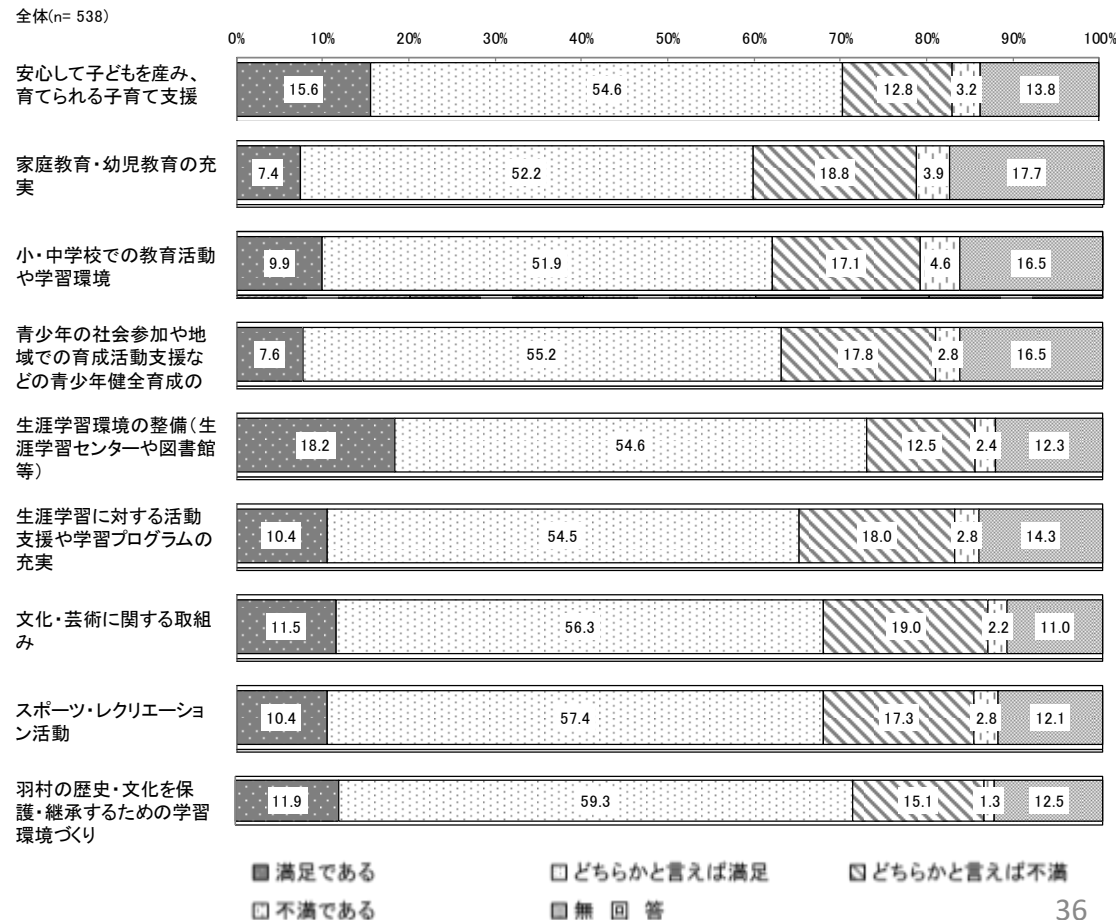
「満足である」＋「どちらかといえば満足」の割合が高いものをみると、「生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）（72.8%）」、「羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり（71.2%）」及び「安心して子どもを産み、育てられる子育て支援（70.2%）」の3項目が70%を超えている。

（72.8%）」、「羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり（71.2%）」及び「安心して子どもを産み、育てられる子育て支援（70.2%）」の3項目が70%を超えている。

次いで、「スポーツ・レクリエーション活動（67.8%）」、「文化・芸術に関する取組み（67.8%）」、「生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実（64.9%）」、「青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の活動（62.8%）」、「小・中学校での教育活動や学習環境（61.8%）」が60%台で続いている。

一方、《不満》（「不満である」＋「どちらかといえば不満」）の割合をみると、「家庭教育・幼児教育の充実（22.7%）」、「小・中学校での教育活動や学習環境（21.7%）」、「文化・芸術に関する取組み（21.2%）」と、21%を超えている。

図表 基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】の満足度（単位：％）



<基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】の重要度>

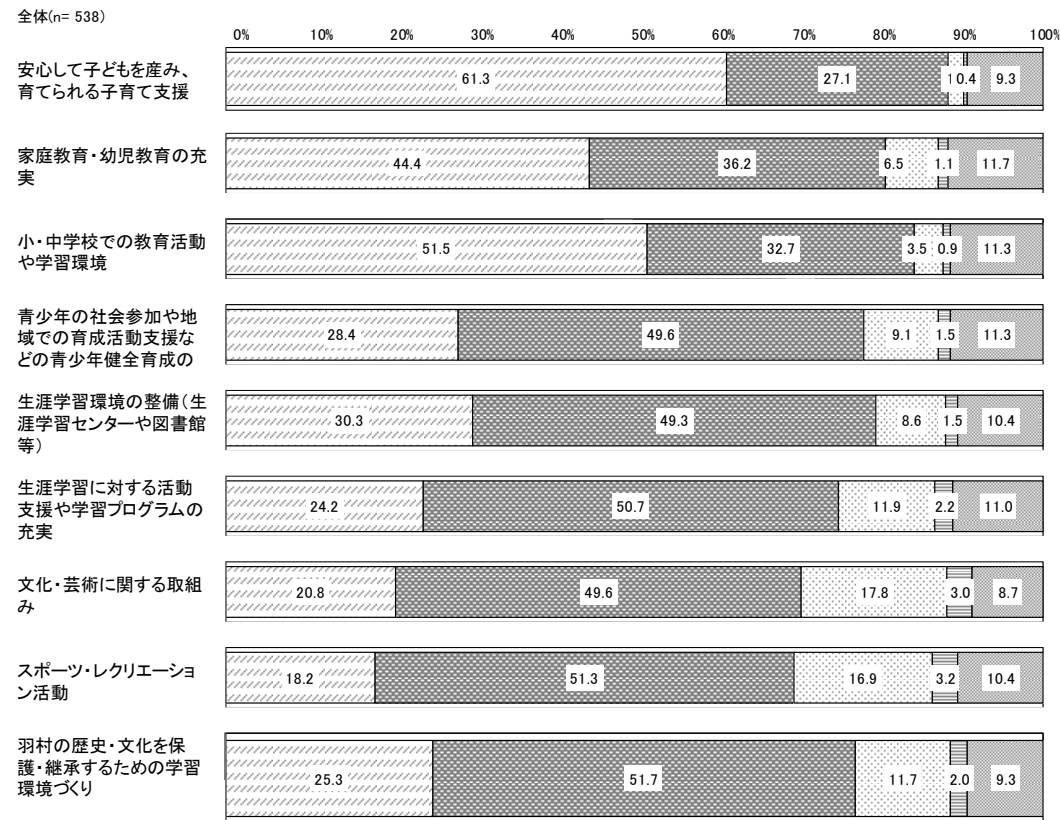
《重要度》

「重要である」＋「どちらかといえば重要」の割合が高いものをみると、「安心して子どもを産み、育てられる子育て支援（88.4%）」が最も高く、次いで「小・中学校での教育活動や学習環境（84.2%）」、「家庭教育・幼児教育の充実（80.6%）」で、いずれも80%を超える数値となっている。

また、「生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）（79.6%）」、「青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の活動（78.0%）」、「羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり（77.0%）」が次いで高く、70%代後半となっている。

一方、「重要でない」＋「どちらかと言えば重要でない」の割合をみると、「文化芸術に関する取組み（20.8%）」及び「スポーツ・レクリエーション活動（20.1%）」がそれぞれ20%台であり、やや高くなっている。

図表 基本目標1 生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】の重要度（単位：%）



□ 重要である

■ どちらかといえば重要

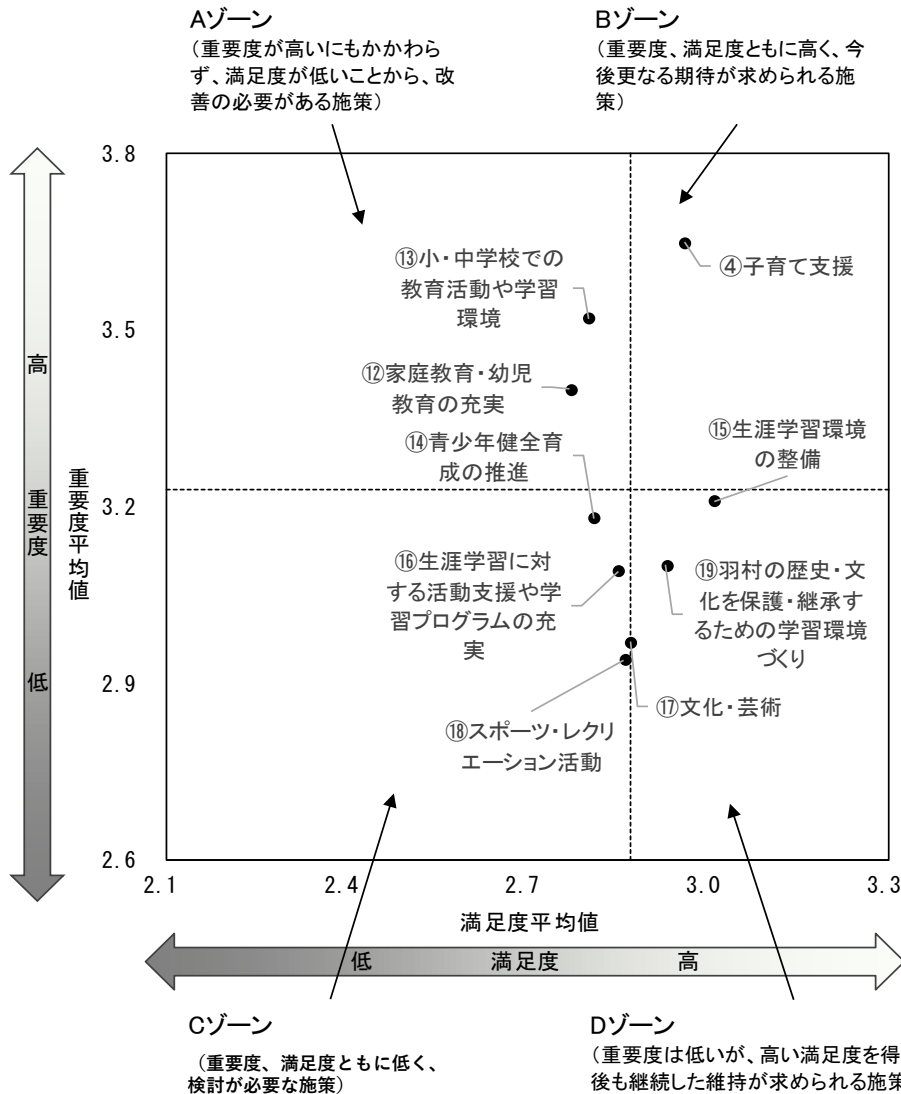
□ どちらかといえば重要でない

□ 重要でない

■ 無回答

市民の意識

<基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】のゾーニング分析>



ゾーン	項目	満足度	重要度
A	家庭教育・幼児教育の充実	2.77	3.4
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.8	3.52
B	子育て支援	2.96	3.65
C	青少年健全育成の推進	2.81	3.18
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.85	3.09
	スポーツ・レクリエーション活動	2.86	2.94
C,D	文化・芸術	2.87	2.97
D	生涯学習環境の整備	3.01	3.21
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.93	3.1